

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・児童生徒にとって安全・安心な教育環境の確保 ・スクールバスを計画的に配備することによる児童生徒の通学の安全・利便性の確保及び保護者等の送迎の負担軽減 など 【これまでの取組】 ・GIGAスクール構想を実現するICT機器及び通信環境の整備 ・令和元～3年度の3か年での集中的な施設計画整備 ・令和元～5年度の5か年でのトイレ環境整備（全ての学校においてトイレの洋式化率80%、多目的化率20%を達成予定） ・児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備（令和2年度5台増便、計41台での運行） など				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。 </td> <td> ・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。
課 題	今後の方向性				
・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。	・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	○スクール・サポート・スタッフ配置事業及び特別支援学校施設計画整備事業について、財源更正を行う。
------------------------	--

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
前年度繰越			R1年度	R2年度	R3年度										
前年度繰越			1,279,342	27,643	92,554	事業コスト	予算額	当初予算			785,971	784,209	1,183,823		
補正予算			37,172	379,219	761,195			合計(A)			2,102,485	1,191,071	2,037,572		
うち一般財源			572,660	427,186	1,030,312			決算額(B)			2,044,940	1,017,540			
			3.13	3.13	3.13			職員数(人)			3.13	3.13	3.13		
成果指標設定理由		1 集中的に施設整備を3か年で実施 2 集中的なトイレ整備を5か年で実施 3 スクールバス乗車基準													

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
1	給与費等					当初予算	59,817
						補正予算	0
		計	42,471	計	49,222	計	59,817
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業	直接	公立特別支援学校19校に教員の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフを配置（各校1人、計19人）し、教員が児童生徒の学びの保障に注力できる体制を整備
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員及び早期教育相談員を4人ずつ配置
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤職員を2人配置
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替職員の配置

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
2	特別支援教育推進指導事業費					当初予算	292,859
						補正予算	145,810
		計	150,338	計	205,873	計	438,669
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	学校管理運営事業	直接	タブレット端末等のICT機器及び通信環境の整備によるICTを活用した効果的な教育の推進 ICTを活用した授業環境の高度化に資するため、電子黒板（238台）を整備するとともに、教員1人にタブレット端末を1台整備

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
3	就学奨励事業費					当初予算	366,310
						補正予算	0
		計	324,389	計	319,288	計	366,310
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特別支援教就学奨励費事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給（国庫1/2）

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
4	特別支援学校整備事業費					当初予算	194,868
						補正予算	421,216
		計	166,199	計	244,228	計	616,084
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	17校、26箇所において施設整備を実施 稲荷山養護学校において、厨房拡張工事及び調理器具の更新を実施 体育館照明のLED化推進 10校、17箇所において施設整備を追加実施
2	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	4校、15箇所においてトイレの整備を実施（洋式化9箇所、多目的化6箇所） 9校、30箇所においてトイレの整備を追加実施（洋式化18箇所、多目的化12箇所）
3	寿台養護学校の教室増築事業	直接	特別教室（陶芸室）を普通教室2室に改修するとともに、特別教室2室を増築
4	特別支援学校教室増設事業	直接	児童生徒数の増加により今後見込まれる教室不足に対し、教室等を増築
5	松本ろう学校施設機能拡張事業	直接	松本ろう学校及び寿台養護学校松本ろうキャンパスの児童生徒が毎日使用する中央廊下の大きな寒暖差を解消する校舎断熱化改修を実施

細事業 No.	細事業名	R1年度最終予算		R2年度最終予算		R3年度予算	
5	特別支援学校運営費					当初予算	269,969
						補正予算	194,169
		計	138,377	計	225,651	計	464,138
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。
2	通学バス・公用車整備事業	直接	スクールバス1台を更新 スクールバス1台を新規リース 感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便 スクールバス3台を追加更新 乗車希望に対応するためスクールバスを1台増車 通学生の増加に対応するためスクールバスを2台新規配置するとともに、車庫を設置
3	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入
4	県立学校修学旅行取消料等支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により修学旅行等を中止した特別支援学校の保護者が負担するキャンセル料等を助成
5	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	補助金	感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要となる保健衛生用品等の購入